

2020年度、中2国語科、
学習の診断テストの長文読み取りの問題について、聴覚障害児学級の担任と交流学級の担任から、聴覚障害者が登場する文学作品「熱風」（福田隆治著）から抜粋された問題文が、「聴覚に障害のある生徒を精神的に追い込むのではないか」「周りの生徒に、聴覚障害者の誤ったとらえ方を刷りむことになり、差別を生むのではないか」と危惧すると組合に相談がありました。組合でも、指摘を受け、「改めて読み返して気づいた」「当事者やそこに寄り添う者でしか気づかない状況になつていて」のでは、とこの気づきに対してもはつきせられるという議論になりました。

この作品そのものは、全文を読むと問題提起のある優れた作品です。出題者もそうとらえ、出題したのでしよう。しかし、健常者からの聴覚障害者への一方的な見方ではないかと疑問をもたずにはいられません。

香教組は、相談があつた高松支部とともに、2021年2月22日市教委・香川県校長会進路指導部、同3月24日県教委特別支援教育課・人権同和課同4月15日義務教育課に、「この問題に対する各課の見解」、「この問題を作成した意図」、「今後過去に使用したこと」を申し入れました。進路指導部からは、

「次年度からの学習の診断作成に生かせるよう手配する」としつつ、「校長会の決定事項に基づき、進路指導部が事務手続きをおこなつて」、「実施に際しての現場からのアンケート結果には個別には回答しないことになつていて」との回答がありました。

この問題を作成した意図、過去問の今後の使用については回答されていません。

県教委特別支援教育課と人権同和課は、申し入れの際には、特別支援教育課はこの問題に共感し、人権同和課は、教員の反応が薄いという点に反応していました。後日、送られてきた回答は、「県教育委員会においては、教育活動を通じて、児童生徒が差別・偏見に苦しむことがあつてはならないと考えており、今後も児童生徒が、お互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、個性と能力を十分に發揮できるよう、市町教育委員会とともに、教育・学習の場において人権尊重が徹底される環境づくりに取り組んで参ります」とあり、過去問としての使用などの回答はありません。義務教育課からは、依然、回答はありません。

教職員の人権意識は高く、今回の問題も意図的に行われたとは考えにくく、日々の業務のゆとりのなさ、経験の有無などから偶発的に発生したものと考えられます。このことを、「おかしい」と声をあげた現場の教員の感性こそが、生徒を守つているといえるでしょう。声を上げた教員の勇気に感謝と敬意を表すとともに、私たち自身も常に立ち止まり振り返る必要があるのではないでしょうか。

香教組は、この問題を広く教職員と共有し、どの子もが大切にされる学校づくりと教職員のゆとりが児童生徒の人権と学びの保障につながると考え、この問題を過去問として使用することを中止とともに、このような問題が起こらないよう取り組んでいきたいと考えています。（申し入れ書等は香教組HPに掲載の予定です）

学校現場は超多忙であり、教職員は一つ一つのことをじつくり立ち止まって考えることがで

気が付いた先生方の感想

「いつもいつも周りのことばかりうかがって（生活している）」
（例）空気をよんでも霧団気をこわさないため（17字）

○文脈の中で語句の意味を捉える力を試す。
・早苗の「よかったわね、孝司。香奈子が褒めてくれてさ。」という言葉を手がかりに考えよう。
・早苗はぼくが香奈子に好意を持っていることをからかっている。
○文章の内容を正しく捉える力を試す。
・聴覚にハンディキャップがある香奈子は「周りで誰かが言っていることを全て聞き取ろう」としていることを手がかりにしよう。
○登場人物の心情を正しく読み取る力を試す。
・「空気のよめない人にならないため」（15字）、「クラスの霧団気をこわさないため」（15字）等類答可。文末が「ため」でなければ-1点。
○登場人物の心情を正しく読み取る力を試す。
・香奈子のために何かをしたいのに何もできない自分の「もどかしさ」に奥歯をかみしめた「いることを手がかりに考えよう。
○登場人物の人物像を読み取る力を試す。
・1は「誰よりも責任感が強く」が、3は「学校の先輩として」が、4は「自己中心的で」が適当でない。
・「大したことない」と繰り返す香奈子はどのような人物か、考えよう。

（2020年度中2国語科学習の診断テストより抜粋）

二〇二〇年度中2国語科学習診断テスト

きないのが現状です。こうした中で、多くのことに気づかない、気づいてもその後の煩雑さから費やす時間と労力を考えると、声をあげない状況も少なからずともあるのではないでしようか。

未曾有の「コロナ禍」で、未だ「コロナ差別」に対して、県教委・市町教委は度重なる通達・通知を出し、差別事象が起ころうとしての現場からのアンケート結果には個別には回答しないことになつていて」との回答がありました。

この問題を作成した意図、過去問の今後の使用については回答されていません。

（①に もじかしが込み上げ、奥歯を強くかみしめたとあるが、このときのぼくは何を感じていたか。次の1～4から最も適当なもの選んで、その番号を書け。）

1 脱力感 2 疲労感 3 痛敏感 4 無力感

字)			
田	1	2	手引き
山	1	いつもいつも周りのことばかりうかがって（生活している）	
山	2	（例）空気をよんでも霧団気をこわさないため（17字）	
山	1	4	
山	2	2	

（2020年度中2国語科学習の診断テスト回答と解説より抜粋）



教室にタブレット端末が来ました。

た▼文科省は、「校長のせいに」と通知を3月に出しました。いくつかの市町教委からは、「4月中には、使えるようにしておくように」と▼高松市は、児童と同じ端末の教師用が配布されていません。これで、どうやって研修ができるのでしょうか。▼2021年度の始まりは、実質3日しかありませんでした。職員会、学年団会、新学期受け入れ準備と、日々に長時間勤務が続きました。これで、いつ端末の研修ができるのでしょうか。「端末を家庭に持ち帰らせます」と、これまで長時間勤務が続いた。これまで、いつ端末の研修ができるのでしょうか。「端末を家庭に持ち帰らせる」家庭の通信環境の格差をどう解消するのでしょうか。▼高松市の端末の充電は保管庫で夜行われます。持ち帰ったときのバッテリー切れは想定していないのでしょうか。▼ローマ字入力かひらがな入力か、ひらがな入力なら50音表か否か。中学校で複数の小学校と一緒にになる場合、揃えておかなくていいのか▼大小様々な課題や矛盾に対しての現場の悲鳴が聞こえます。また、「働き方改革」から遠のきました。